
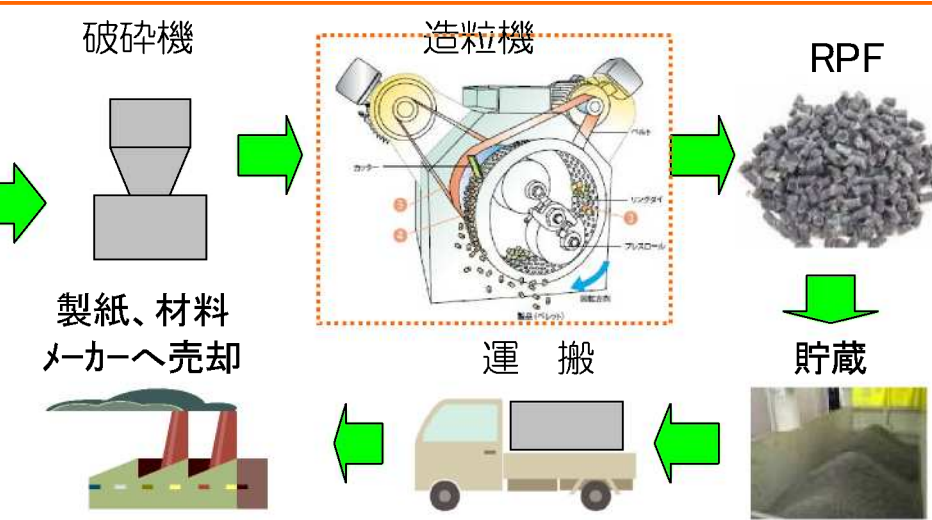


事例①製品端材の再生資源燃料化(RPF)の取組み

- ・生産で発生した製品端材を廃棄から固形燃料化、売却により廃棄物低減を進めた。

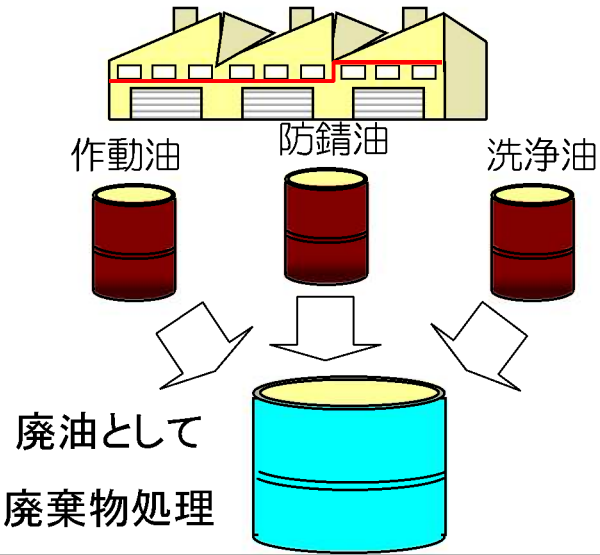
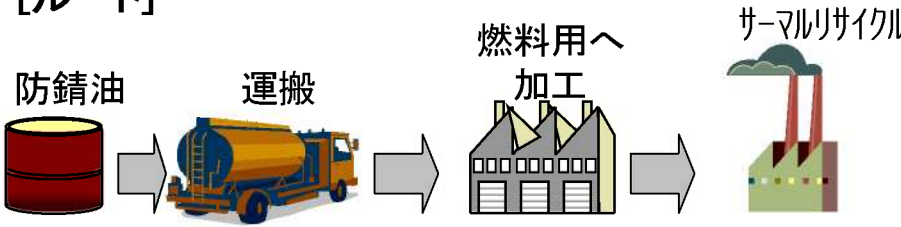
改善前	改善後
<p>自動車内カーペットの成型、打抜後に端材が発生。更に端材を圧縮し廃棄している</p> 	<p>社内に処理設備を導入してRPF化し固形燃料として売却。廃棄物量削減と原価低減を達成</p> 
<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の平均廃棄量: 〇〇 t/月 ・廃棄処理費が必要 ・端材回収～圧縮に関わる工数 ・廃棄 manifests 発行の工数発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・有価物扱いで廃棄量を削減 ・RPFとして有価物として売却 ・端材回収、RPF化関わる工数 ・廃棄 manifests 発行の工数不要

■RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) とは

産業廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難なプラスチック、古紙、廃木材などを原材料とする固形燃料。製紙・鉄鋼業界などの燃料として使用されている。

事例②廃油の産廃から有価物化への取組み

- ・生産使用後の油を廃棄から燃料用として売却により廃棄物低減を進めた。

改善前	改善後
<p>工場で使用後の廃油を同じドラム缶に収集し一括して廃棄処理</p> 	<p>廃棄物低減W/G活動を通じて低減アイテムを選定。 「燃料用へ売却」案より可能なメーカー選定。</p> <p>廃油の売却条件として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・含水量が少ない(〇〇%以下) ・不純物が少ない 等の条件から <p>弊社のプレス工程から排出される防錆油を選定</p> <p>[ルート]</p> 
<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の平均廃油廃棄量: 〇〇kg/月 ・廃棄処理費が必要 ・廃棄マニフェスト発行の工数発生 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有価物扱いで廃棄量を削減 ・有価物として売却 ・廃棄マニフェスト発行の工数不要

事例③廃棄物処理委託先の施設確認の取組み

・弊社工場の廃棄物担当者が各業者様を現地現物で確認し、法順守の自覚と力量向上を進めた。

改善前

毎年、廃棄物収集運搬・処理委託業者様を環境部担当者(〇名)で現地訪問し、適正に処理されているか確認。



改善後

各工場の廃棄物担当者、環境部と分担し現地確認を行う

[各工場の環境担当者]



12年度廃棄物業者定期確認表

集	間	終	メーカー	12年度	担当者										
						割り当て	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
1	◆	-	A社運輸	豊橋(北)	山下										
2	◆	-	B社運輸	刈谷	山田										
3	◆	-	C社運輸	猿投	近藤										
5	◆	-	D社運輸	猿投	佐藤										
6	◆	-	B社運輸	刈谷	堺					●					
7	-	◆	A化学	刈谷	木下										●
8	-	◆	B化学	木曾川	天野					●					
10	-	◆	C社化学	大口	加藤										●
11	-	◆	A商店	岐阜											●

[課題]

・毎年、現地確認者が同じで、環境部以外の工場の環境担当者は現地確認する機会が無い

・自工場の廃棄物が適正に処理されているか確認出来る。
→しかし、個人力量により監査レベル差が発生。

[今後の活動]

廃棄物低減W/Gにて監査模擬の実施、監査チェックシート見直しを進めレベルの底上げを行う